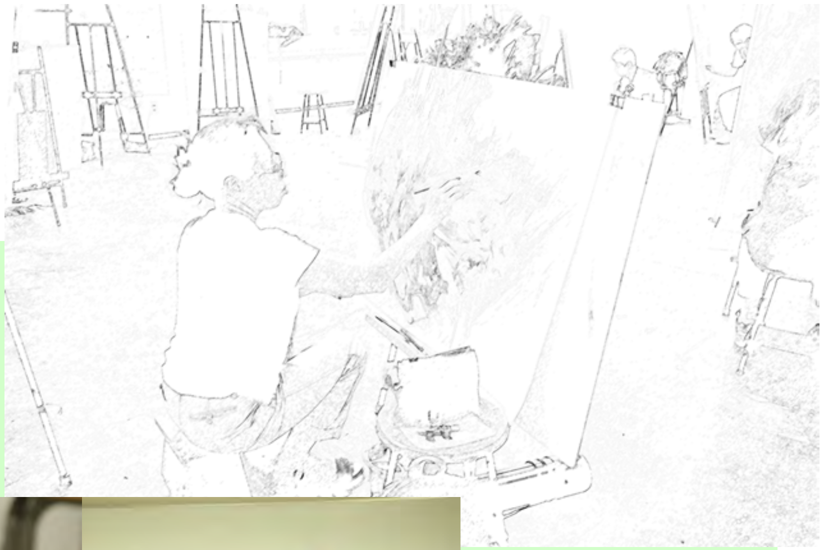
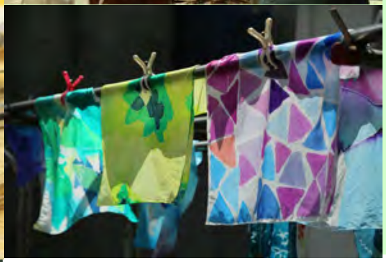
# 平成３０年度
# 教員免許状
# 更新講習
# 募集要項





武蔵野美術大学

## 講習概要

■**必修領域**+**選択必修領域**+**選択領域**の3領域セット受講となります。

| 領域 | 講座名 | 形態 | 日程 | 定員 |
|---|---|---|---|---|
| 必修領域 | 教育の最新事情 | 対面講習 | 7月24日（火） | 120名 |
| | | 通信講習 | 4月1日（日）～<br>（11月最終試験） | なし |
| 選択必修領域 | 対面講習<br>A　教育相談といじめ･不登校<br>B　学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | | 7月25日（水） | 各クラス<br>60名 |
| | 通信講習<br>A　教育相談といじめ･不登校<br>B　学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | | 4月1日（日）～<br>（11月最終試験） | なし |
| 選択領域 | 美術教育<br>実践研究 | 対面講習<br>A～G全7クラス（絵画表現・彫刻・グラフィックデザイン・テキスタイル・ガラス・映像表現・ミュゼオロジーと鑑賞活動） | 7月26日（木）～7月27日（金）<br>（実技）<br>7月28日（土）（講義） | 各クラス<br>17名 |
| | | 通信講習 | 4月1日（日）～<br>（11月最終試験） | なし |

## 受講資格

**以下ⅰ～ⅲのすべての要件を満たす方**

**ⅰ　小学校・中学校（美術）・高等学校（美術、工芸）のうち、いずれかの免許状を有する方**
**（相当する特別支援学校教員含む）**

**ⅱ　以下のいずれかに該当する方**
①現職教員
②教員採用内定者
③教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている者
④過去に教員として勤務した経験のある者

**ⅲ　-a　《旧免許状所持者》修了確認期限が平成31年3月31日または平成32年3月31日の方**
**（第9グループまたは第10グループの方）下記表をご確認下さい。**

**ⅲ　-b《新免許状所持者》免許状記載の満了日より2年2ヶ月前の方が対象。**

| 該当区分 ＼ 修了確認期限 | 平成31年3月31日 | 平成32年3月31日 |
|---|---|---|
| 上記修了確認期限までに満35歳となる者の生年月日 | 昭和58年4月2日～<br>昭和59年4月1日 | 昭和59年4月2日～ |
| 上記修了確認期限までに満45歳となる者の生年月日 | 昭和48年4月2日～<br>昭和49年4月1日 | 昭和49年4月2日～<br>昭和50年4月1日 |
| 上記修了確認期限までに満55歳となる者の生年月日 | 昭和38年4月2日～<br>昭和39年4月1日 | 昭和39年4月2日～<br>昭和40年4月1日 |
| 更新講習受講期間 | 平成29年2月1日～<br>平成31年1月31日 | 平成30年2月1日～<br>平成32年1月31日 |

＊旧免許状所持者で、上記の年齢該当区分に当てはまらない方でも受講できるケースがありますので、
別途お問合せください。

◎文部科学省ＨＰにて修了確認期限がチェックできます。本年度の受講対象者であるか各自でご確認ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm

## コース紹介・受講料

受講形態によりⅠ～Ⅳコースに分かれ、各コースとも選択必修領域は講習内容によりA, Bクラスに分かれます。さらにⅠおよびⅡコースは選択領域の対面講習の内容によりA～Gクラスに分かれます。いずれかのコースを選び、選んだコースの中で選択必修領域・選択領域のクラスをそれぞれ第2希望まで申込むことができます。必修領域(6時間)+選択必修領域(6時間)+選択領域(18時間)の三領域セットでの受講となりますので、ひとつの領域のみ、または二つの領域のみの受講はできません。

**Ⅰコース**

| 必修領域 | 選択必修領域 ※2 | 選択領域 | 受講料※1 |
|---|---|---|---|
| ❶対面講習 | ❸対面-A 教育相談といじめ･不登校<br>❸対面-B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | ❺対面-A 絵画表現<br>❺対面-B 彫刻<br>❺対面-C グラフィックデザイン<br>❺対面-D テキスタイル<br>❺対面-E ガラス<br>❺対面-F 映像表現<br>❺対面-G ミュゼオロジーと鑑賞活動 ※2 | 50, 000円 |

**Ⅱコース**

| 必修領域 | 選択必修領域 | 選択領域 | 受講料 |
|---|---|---|---|
| ❷通信講習 | ❹通信-A 教育相談といじめ･不登校<br>❹通信-B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | ❺対面-A 絵画表現<br>❺対面-B 彫刻<br>❺対面-C グラフィックデザイン<br>❺対面-D テキスタイル<br>❺対面-E ガラス<br>❺対面-F 映像表現<br>❺対面-G ミュゼオロジーと鑑賞活動 | 50, 000円 |

**Ⅲコース**

| 必修領域 | 選択必修領域 | 選択領域 | 受講料 |
|---|---|---|---|
| ❶対面講習 | ❸対面-A 教育相談といじめ･不登校<br>❸対面-B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | ❻通信講習 | 30, 000円 |

**Ⅳコース**

| 必修領域 | 選択必修領域 | 選択領域 | 受講料 |
|---|---|---|---|
| ❷通信講習 | ❹通信-A 教育相談といじめ･不登校<br>❹通信-B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向 | ❻通信講習 | 30, 000円 |

＊対面講習(選択)は定員制のため、申込希望のクラスが終了していないか本学ホームページにてご確認ください！

※1 受講料には、テキスト代・教材費・保険料を含みます。講習会場・試験会場までの交通費、宿泊代等は各自でご負担ください。

※2 選択必修領域の対面講習のA, Bクラスは、Ⅰ, Ⅲコース合せて定員60名です。また、選択領域のA～Gクラスは、Ⅰ, Ⅱコース合せて定員17名です。

## ❶必修領域ー対面講習　　定員120名程度

現代の教育事情全般を内容として、学校教育の現場が抱えている課題や問題に留意して、2名の担当講師による講義を行います。テキスト『新しい教育事情』(私立大学通信教育協会)を全受講者に事前に配付するほか、講義では必要な資料等を配付します。

## ❷必修領域ー通信講習　　定員なし

現代の教育事情全般を通信授業で行います。テキスト『新しい教育事情』(私立大学通信教育協会)の学習をもとに、レポートでは学校教育の現場が抱えている課題や問題について論じてもらい、それを添削指導します。

## ❸選択必修領域（Ａ・Ｂクラス）ー対面講習　　定員各クラス60名程度

お申込の際に、ＡクラスまたはＢクラスのどちらかを選んでいただきます。

### A 教育相談といじめ･不登校

教育相談のあり方について、教育現場の大きな課題であるいじめと不登校を焦点に論じます。テキストとして『新しい教育事情』（私立大学通信教育協会）と『新しい教育相談論』（武蔵野美術大学出版局）を全員に配付します。

### B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向

現行の学習指導要領と改訂の動向を踏まえ、特にアクティブ･ラーニングと造形ワークショップの動向に注目した内容です。テキストとして『新しい教育事情』（私立大学通信教育協会）と『造形ワークショップ入門』（武蔵野美術大学出版局）を全員に配付します。

## ❹選択必修領域（Ａ・Ｂクラス）ー通信講習　　定員なし

お申込の際に、ＡクラスまたはＢクラスのどちらかを選んでいただきます。

### A 教育相談といじめ･不登校

教育相談のあり方について、教育現場の大きな課題であるいじめと不登校を焦点にした課題を添削指導します。テキストとして『新しい教育事情』(私立大学通信教育協会)と『新しい教育相談論』(武蔵野美術大学出版局)を全員に配付します。

### B 学習指導要領とアクティブ･ラーニングの動向

現行の学習指導要領と改訂の動向を踏まえ、特にアクティブ･ラーニングと造形ワークショップの動向に注目した課題を添削指導します。テキストとして『新しい教育事情』(私立大学通信教育協会)と『造形ワークショップ入門』(武蔵野美術大学出版局)を全員に配付します。

## ❺選択領域（全7クラス）ー対面講習　　定員各クラス17名

お申込の際に、Ａ～Ｇクラスのいずれかを選んでいただきます。
前半の2日間は各クラスに分かれた実習。後半の1日は実習で学んだ造形要素を生かした教育計画の作成を目標として「教育方法開発」「題材開発」「教材開発」「連携開発」について講義を行います。

### A 絵画表現

絵画の基礎的な表現による制作実習を行います。

### B 彫刻

人体モデル頭部塑像を通して、自然の観察を中心に、彫刻における形体や空間について実習します。

### C グラフィックデザイン

「文字とデザイン」
言葉や情報の伝達にかかせない「文字、活字（フォント）」の基本的な知識と、その取り扱い方の基礎を学びます。

### D テキスタイル

染め（友禅染）の基礎的な技法による制作実習を行います。

### E ガラス

ステンドグラスの基礎的な技法による立体の制作実習を行います。

### F 映像表現

脳内に浮かぶイメージを時間軸上に造形する「アニメーション」の実習です。必要なのは大量の絵を描きまくる意欲のみ。編集ソフトの知識経験は不要です。

### G ミュゼオロジーと鑑賞活動

近年、重要性を増す「鑑賞」と、「造形」コミュニケーションの場である「展示」について、ミュゼオロジー（博物館学）を参照し、講義と演習を通して学びます。

※写真はイメージですので実際の講習内容とは異なる場合があります。

## ❻選択領域ー通信講習　　定員なし

「教育方法開発」「題材開発」「教材開発」「連携開発」の4領域からなる「美術教育実践研究」全般を通信授業で行います。テキスト『美術教育の動向』(武蔵野美術大学出版局)の学習をもとに、授業実践に即した学習指導計画やレポートを添削指導します。

## 対面講習

（１）対面講習の流れ

**7/24（火）**
本学鷹の台キャンパスで講義を受講 → 講義終了後に修了認定試験受験 → 試験合格 → **必修領域修了**

**7/25（水）**
本学鷹の台キャンパスで講義を受講 → 講義終了後に修了認定試験受験 → 試験合格 → **選択必修領域修了**

**7/26（木）7/27（金）**
本学鷹の台キャンパスでコース別実習受講 → 実習内の講評

**7/28（土）**
本学鷹の台キャンパスで講義を受講 → 最終日講義終了後に修了認定試験受験 → 試験合格 → **選択領域修了**

（２）時間割

開催場所：本学鷹の台キャンパス

| | 必修領域 | 選択必修領域 | 選択領域[実技] | | 選択領域[講義] |
|---|---|---|---|---|---|
| | 7/24（火） | 7/25（水） | 7/26（木） | 7/27（金） | 7/28（土） |
| 1限 | 9：00～10：30 | 9：00～10：30 | 9：00～10：30 | 9：00～10：30 | 9：00～10：30 |
| 2限 | 10：40～12：10 | 10：40～12：10 | 10：40～12：10 | 10：40～12：10 | 10：40～12：10 |
| 3限 | 13：00～15：00 | 13：00～15：00 | 13：00～14：30 | 13：00～14：30 | 13：00～15：00 |
| 4限 | 15：10～16：10（修了認定試験） | 15：10～16：10（修了認定試験） | 14：40～16：10 | 14：40～16：10<br>＊17：00～<br>懇親会（予定） | 15：10～16：10（修了認定試験） |

（３）修了認定試験

必修領域・選択必修領域では、最終時限に行う修了認定試験（60分）にて評価します。
選択領域では、講習内での講評、および最終時限に行う修了認定試験（60分）にて総合的に評価します。

## 通信講習

（１）通信講習の流れ

テキストにて自宅学習 → **4/1（日）以降** 郵便またはEメールでレポートを提出 → 担当講師による採点後レポート合格※1 → 修了認定試験受験（全国10会場で実施） → 試験合格※2 → **修了**

※1　レポートが不合格だった場合、再提出が可能です。
※2　修了認定試験が不合格だった場合、最終回までは再受験が可能です。

（２）修了認定試験

レポート合格後に受験する修了認定試験（60分）にて評価します。修了認定試験は、年間5回の受験機会があります。日程・会場を選択して受験が可能です。

【日程】**６月３日（日）、７月16日（月･祝）、９月２日（日）、10月14日（日）、11月23日（金･祝）**
【会場】全国10会場（東京、札幌、仙台、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島、沖縄）

**監督者委託型修了認定試験**

山間部離島へき地などの特別に交通が困難な場合は、所属する学校長等に監督を委託し「監督者委託型修了認定試験」を実施します。実施する場合は、所属学校長等に依頼し、監督者になることの事前の了解と、学校での会場の確保について承諾を受ける必要があります。希望者は、事前に申し出ていただくことが必要です。申込書の記載欄へ印をつけてください。

【日程】10月12日（金）17時～（勤務時間終了後）
※再受験または特別に支障のある場合のみ11/16（金）勤務時間終了後に実施

## 申込手続き[郵送のみ]

**以下書類に必要事項を記入・捺印のうえ、下記宛先までお送りください。**

①平成30年度教員免許状更新講習受講申込書（Ａ4･両面）
②プロフィールシート（Ａ4･両面、顔写真貼付）
③受講希望コース記入用紙
④**顔写真<u>2枚</u>**（1枚は②プロフィールシートへ貼付）<u>※②へ貼付したものと同じ顔写真をもう1枚同封してください。</u>

**<u>申込書類送付先</u>：〒180-8566　東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7**
**武蔵野美術大学　更新講習係宛**

・封筒の表に「更新講習申込書類在中」と朱字で記載してください。
・お送りいただいた書類は返却いたしません。
・申込書記入例を参照し、記載事項・捺印等の漏れがないように注意してください。
・監督者委託型修了認定試験を希望する方は、申込書の記載欄へ印をつけてください。必要書類を送付します。
・申込者が少数の場合は開講しないこともあります。

**Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコース 申込期間**

**平成30年2月16日（金）～5月31日（木）** ＊当日消印有効
**先着順にて受付**

**Ⅳコース 申込期間**

**平成30年2月16日（金）～7月31日（火）** ＊当日消印有効

**《コース変更》コース変更期限は、5月31日(木)当日までとなっております。以降は受付いたしません。**
**＊　選択領域の対面講習クラスのご変更は、募集を締切っていないクラスのみになります。**

## 受講許可通知・受講料の支払い

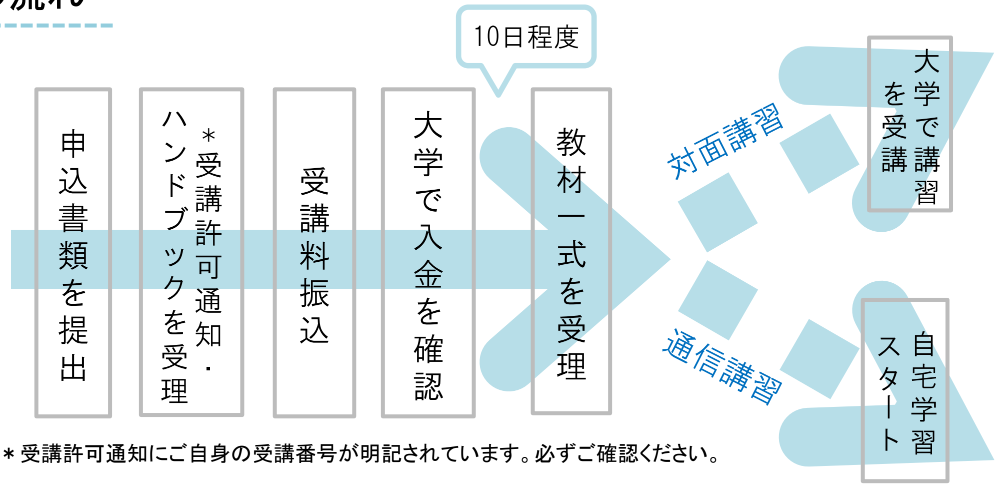
### 受講許可通知について

対面講習については定員を設けています。
（選択必修領域のＡ･Ｂクラスは各60名、選択領域のＡ～Ｇクラスは各17名）
受付は<u>先着順</u>となるため、ご希望のクラスが定員に達している場合は、他のクラスでの受講となります。ご了承ください。
受講の可否については、書類受理後、順次郵送で通知します。

### 受講料の支払いについて

受講許可通知と共に受講料振込票を大学より郵送します。所定の期日までに、金融機関窓口またはＡＴＭにて受講料を納入してください。大学窓口での受講料の支払いはできません。

## 申込後の流れ




＊受講許可通知にご自身の受講番号が明記されています。必ずご確認ください。

## 担当講師

必修領域・選択必修領

**伊東　毅** Ito Takeshi
教職課程教授
[専門分野]教育学（教育哲学・いじめなどの教育問題論）
いじめなどの教育問題についての論文多数。道徳副読本や教師用指導書の編集委員などをつとめる。

**高橋　陽一** Takahashi Yoichi
教職課程教授
[専門分野]日本教育史学（宗教教育、国学）
公益財団法人私立大学通信教育協会理事長として通信教育の普及に努め、免許状更新講習のプログラム開発にあたる。

選択領域

**山本　靖久** Yamamoto Yasuhisa　**絵画表現**
共通絵画研究室教授
[専門分野]絵画
現代の物質や情報などの「豊かさ」に対する反問譜として、精神的にも肉体的にも「豊か」であったであろう原初の時代の情景を平面作品、オブジェで制作
主体美術協会会員、日本美術家連盟会員
個展・企画展にて制作発表多数

**上楽　寛** Joraku Hiroshi　**絵画表現**
共通絵画研究室非常勤講師
[専門分野]絵画
人間を含めての広い意味での「自然」の様々な在り方をテーマに平面作品を制作
個展・グループ展を中心に制作発表多数

**脇谷　徹** Wakiya Toru　**彫刻**
共通彫塑研究室教授
［専門分野］彫刻
主なコレクションとして小平市小平消防署、江戸川区役所、信濃デッサン館、阪神甲子園球場　他個展多数

**櫻井　かえで** Sakurai　Kaede　**彫刻**
共通彫塑研究室非常勤講師
［専門分野］彫刻
木やテラコッタを素材とした彫刻作品を制作。01年からギャラリーせいほうでの個展をメインに17年佐久市立近代美術館、日本橋三越本店、越後妻有アートトリエンナーレ、他で作品発表

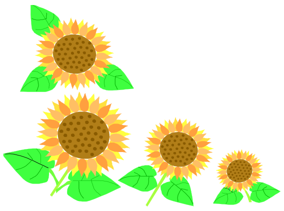
**白井　敬尚** Shirai Yoshihisa　**グラフィックデザイン**
視覚伝達デザイン学科教授
[専門分野]タイポグラフィ及びブックデザイン
デザインワーク：05年〜 デザイン誌「アイデア」、09年『Tokyo TDC Vol.20』、13年『横尾忠則全装幀集』、13年 ggg「ヤン・チヒョルト」展、01・11年「ソウル国際タイポグラフィ・ビエンナーレ」出品・スピーカー、11年 第673回デザインギャラリー1953「本の知と美の領域 VOL. 1 白井敬尚の仕事」展、08・10・13年『東京TDC賞』ゲスト審査員

**杉下　城司** Sugishita Joji　**グラフィックデザイン**
視覚伝達デザイン学科/デザイン情報学科非常勤講師
［専門分野］グラフィックデザイン及びタイポグラフィ
主なデザインワーク：銀座和光ビジュアルアイデンティティ
「菅井汲展」「重森三玲の庭展」「珠玉のヨーロッパ油彩画展」など美術館ポスター・図録。「平野富二生誕百二十年記念祭」ポスター、記録誌。『タイポグラフィ学会誌01,02,03号』
講演：「サンセリフ体の潮流」「ヨーロッパ絵画とタイポグラフィ」「ローマンサンセリフ」等

**鈴木　純子** Suzuki Junko　**テキスタイル**
工芸工業デザイン学科准教授
[専門分野]テキスタイルアート・デザインにおける表現研究
99年「第6回 国際テキスタイルコンペティション’99-京都-」技術賞受賞、02年「横浜にぎわい座」3・4階ホールホワイエ タペストリー制作、2016年　杭州ファイバーアートトリエンナーレ(中国)その他、国内外での個展・グループ展多数

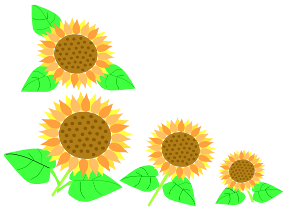
**白石　眞弓** Shiraishi Mayumi　**テキスタイル**
工芸工業デザイン学科特別講師
[専門分野]現代友禅・そこから生まれるアート
07年「第34回青枢展」外務大臣賞受賞、08年「第35回青枢展」青枢大賞受賞
その他受賞・展示等、様々な場で活躍

**大村　俊二** Omura Shunji　**ガラス**
工芸工業デザイン学科教授
[専門分野]ガラスにおける造形研究
86年「Design Centre of London」ガラス部門デザイン賞受賞、99年「第2回現代ガラスの美展」大賞受賞、
00年　International　Glass　Symposium　2000　招待制作(チェコ)、2017年Pilchuck　Glass　School　Session4「Materiality」講師　個展・グループ展等多数



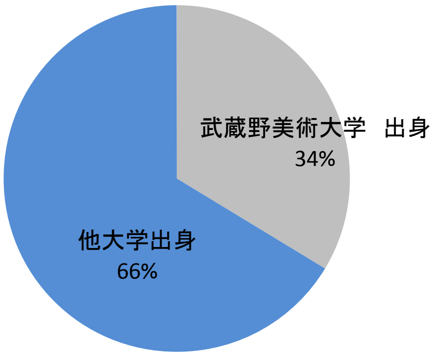
**黒坂　圭太** Kurosaka Keita　**映像表現**
映像学科教授
[専門分野]アニメーション
鉛筆画の手法で「DIR EN GREY」のミュージックビデオ等を手掛ける。アヌシー国際アニメーション映画祭はじめ様々な映像祭で受賞。初の長編アニメーション映画『緑子/MIDORI-KO』（2010）は世界20か国以上で上映。
即興によるライブ･ドローイングの活動も行っている。

**原田　浩** Harada Hiroshi　**映像表現**
映像学科非常勤講師
[専門分野]アニメーション
商業アニメーション・広告・映像音声制作・テーマパークなどの仕事の傍ら個人作品の制作を続ける。フランス・カナダ・ドイツ・スイス・チェコ・イギリス・北京・香港など14カ国の映画祭で上映。近年はテレビ東京系「ふるさと再生日本の昔ばなし」で15本の演出・美術等を担当

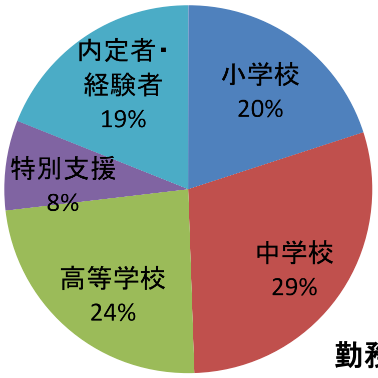
| | |
|---|---|
| **新見　隆** Niimi Ryu　**ミュゼオロジーと鑑賞活動**<br>教養文化・学芸員課程教授<br>[専門分野]美術史と美術館学<br>大分県立美術館館長<br>イサム·ノグチ庭園美術館学芸顧問、著書に『キュレーターの極上芸術案内』(武蔵野美術大学出版局)等 | **杉浦　幸子** Sugiura Sachiko　**ミュゼオロジーと鑑賞活動**<br>芸術文化学科教授<br>[専門分野]ミュージアムにおける教育活動、特に鑑賞教育、アート·マネジメント<br>01年 第1回横浜トリエンナーレ教育プログラム担当、02～04年 森美術館パブリックプログラムキュレーター、05～11年 京都造形芸術大学プログラムコーディネーター |
| **大坪　圭輔** Otsubo Keisuke<br>教職課程教授<br>[専門分野]美術・工芸教育法、教育方法<br>公立中・高等学校や国立大学附属中・高等学校で美術教育にあたり、現在は美術教育実践研究に取り組むとともに、<br>中学校美術科教科書編修なども担当している。 | **三澤　一実** Misawa Kazumi<br>教職課程教授<br>[専門分野]造形美術教育・鑑賞<br>学校と美術館の連携及び美術館の教育普及活動の実践、また校種間連携の授業や題材開発などにも関わる。 |
| **北沢　昌代** Kitazawa Masayo<br>教職課程非常勤講師、聖徳大学短期大学部専任講師<br>[専門分野]美術教育法・教育方法<br>私立中・高等学校で美術教育にあたり、現在は幼稚園教諭・保育士養成、小学校教員養成課程等にも携わり、校種間を通した美術教育に関わる。 |  |

**参 考**

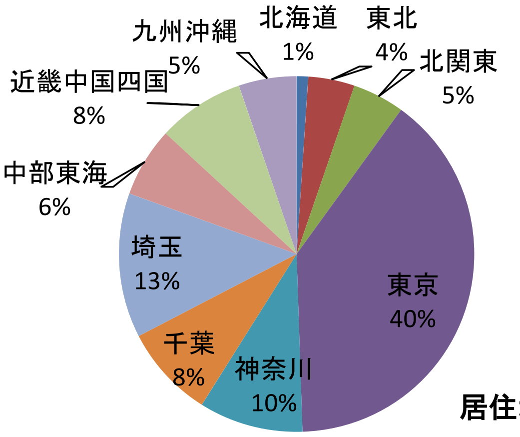
平成29年度受講申込者の､出身大学･勤務校･
居住地域の区分データです。




**出身大学区分**




**勤務校区分**




**居住地域区分**

# 対面講習
# 受講者の声

昨年度、本学で対面講習を受講された皆様の、
受講後のご感想です。

絵画表現クラスでは、巨大な樹根のデッサンを行いました。受講前は、絵画専攻でない自分が、大きな木の根を観察し、描くことができるか不安もありました。実際に描き始めると、先生方のアドバイスを受けながら、深く集中する時間をもつことができました。静けさの中で、ゆっくりと対象物と向き合う時間は、自分との対話の時間でもありました。表現とは、どのように対象物と向き合うか、見方考え方が大切で、上手下手ではなく、情熱なのだと思いました。

合評では、他の受講生さんの真摯な想いを聴き感動で胸が熱くなりました。また、休憩時間を使い図書館やギャラリーの見学もできました。

今回、武蔵野美術大学がコミュニティに発信している活動やギャラリーの企画展を見て、武蔵野美術大学には人間や芸術を愛する哲学があると感じました。武蔵野美術大学で受講し本当に良かったです。
ありがとうございました。

元松　加代子　さん（北九州中央高等学園　教諭）
【平成29年度　絵画表現クラスⅡコース　受講】

私は通信制高校の非常勤講師や大学の講師をしながら作家活動をしています。絵画を専門にしていますが、今回はメイン指導が現代美術の一線で活躍されている黒川弘毅教授、伊藤誠教授ということに興味があり彫刻を受講しました。彫刻B「静物の表現」の課題内容は芸術の本質を突くような刺激的なものでした。

制作は俳句という言葉から想像力を働かせ、彫刻とは何か？作者とは何か？作品とは何か？という命題に立ち向かうべく自分と向き合う濃厚な時間でした。こうして文章で書くと抽象的になってしまいますが、もちろん、素材や媒体について、モデリング、キャスティング、カーヴィングといった彫刻の技法についてもしっかりとした指導があり作業時間が足りなく感じる充実ぶりでした。

至らないため完成した作品に満足したかは別として、私の今後の創作に影響を及ぼすことは間違いないと言い切れる夏の出来事でした。

佐藤　克久　さん（科学技術学園高等学校ほか　講師）
【平成29年度　彫刻クラスⅠコース　受講】

これまで活字書体に関する知識や、文字を組むという行為について学ぶ機会が少なく、私自身も会議書類が読みづらいと読む気になれない所もあり、更新講習では活字書体や組版について学び、生徒に教えるためだけではなく、自分自身の配布物の情報伝達性を向上させたいと思い受講しました。

講習は講義と実技の2部構成で、講義は様々な活字書体の歴史＆製作者の考えや想いをインプット、実技は講義で学んだことを活かしポスター制作のアウトプット。先生方からの的確なアドバイスの中から書体の特性や組み方を工夫することで、紙面に「見たい・読みたい気持ち」をデザインするのだと学びました。

学び直す機会・学びを共にする仲間との出会いが、自分にまた新しいモノが流れ込んでくる感動を思い出しました。武蔵野美術大学最高です！

佐野　文哉　さん（東京都立八王子桑志高等学校　教諭）
【平成29年度　グラフィックデザインクラスⅠコース　受講】

私は小学校の担任で以前から図工に興味があったので、免許状更新講習を美大で受けることにしました。図書館、美術館、校舎・・・と素敵なデザインの環境の中での５日間は、いろいろな発見や刺激もあり、素晴らしいものでした。
必修、選択必修では、充実した資料を使っての熱心な講義。途中途中に図工美術に関するアクティビティも入り、周りの人たちと協力して楽しく学ぶことができました。
実技ではテキスタイルを選択し、２日間友禅染に取り組みました。導入では、誰でも気軽に取り組めるように図案の決め方が工夫されており、緊張していた心もすぐに和みました。それから１つ１つの工程について先生方から丁寧にご指導いただきました。工房で友禅染とじっくり向き合い過ごした２日間は、宝物のような素敵な時間でした。

椎名　倫子　さん（品川区立延山小学校　主任教諭）
【平成29年度　テキスタイルクラスⅠコース　受講】

ガラスクラスでは、与えられたテーマ「光」をもとに、自分なりに表現するとともに、ガラスの接合方法や道具の扱い方を学んだ。学校現場にいると、「表現しようとする生徒を見守る側」となり、純粋に「表現する側」に立つ機会が少なくなる。授業を受けて一番に感じたのは、授業者であった自分を客観的に見つめることができたことである。制作に集中するために制作前の道具や導入で仕掛けを用意しておくこと、生徒一人一人に対しての声かけは常に机間巡視をしなければできないこと、講評で大切にすべきは表現するに至った思考過程であること、これらを実感することができた。
今回の講習で感じたことを、今後の授業や教育活動に生かしていきたい。

濱　夏子　さん（目黒区立東山中学校　教諭）
【平成29年度　ガラスクラスⅠコース　受講】

パソコンが苦手な私に、アニメーションがつくれるのか不安でしたが、先生方の親切丁寧なご指導のおかげで、作品を仕上げることができました。描く情熱があれば大丈夫とのお話があり、一生懸命原画を描きました。久しぶりに作品づくりに没頭できる幸せな時間を過ごしました。生まれて初めて自分の描いた絵が画面のなかで動くのを見たとき、今までに味わったことのない不思議な昂揚感があり、衝撃的な感動を味わいました。
作品の上映会において、黒坂先生、原田先生からのあたたかい講評とともに、「ムサビ魂」のお話があり大変感銘を受けました。
武蔵野美術大学を卒業して20年後に、また新たに、楽しく素晴らしい武蔵野美術大学の思い出ができました。「ムサビ魂」の灯火を、子供たちに伝えていけるよう一生懸命精進していきたいです。先生方はじめ、武蔵野美術大学の皆さま、本当にありがとうございました。

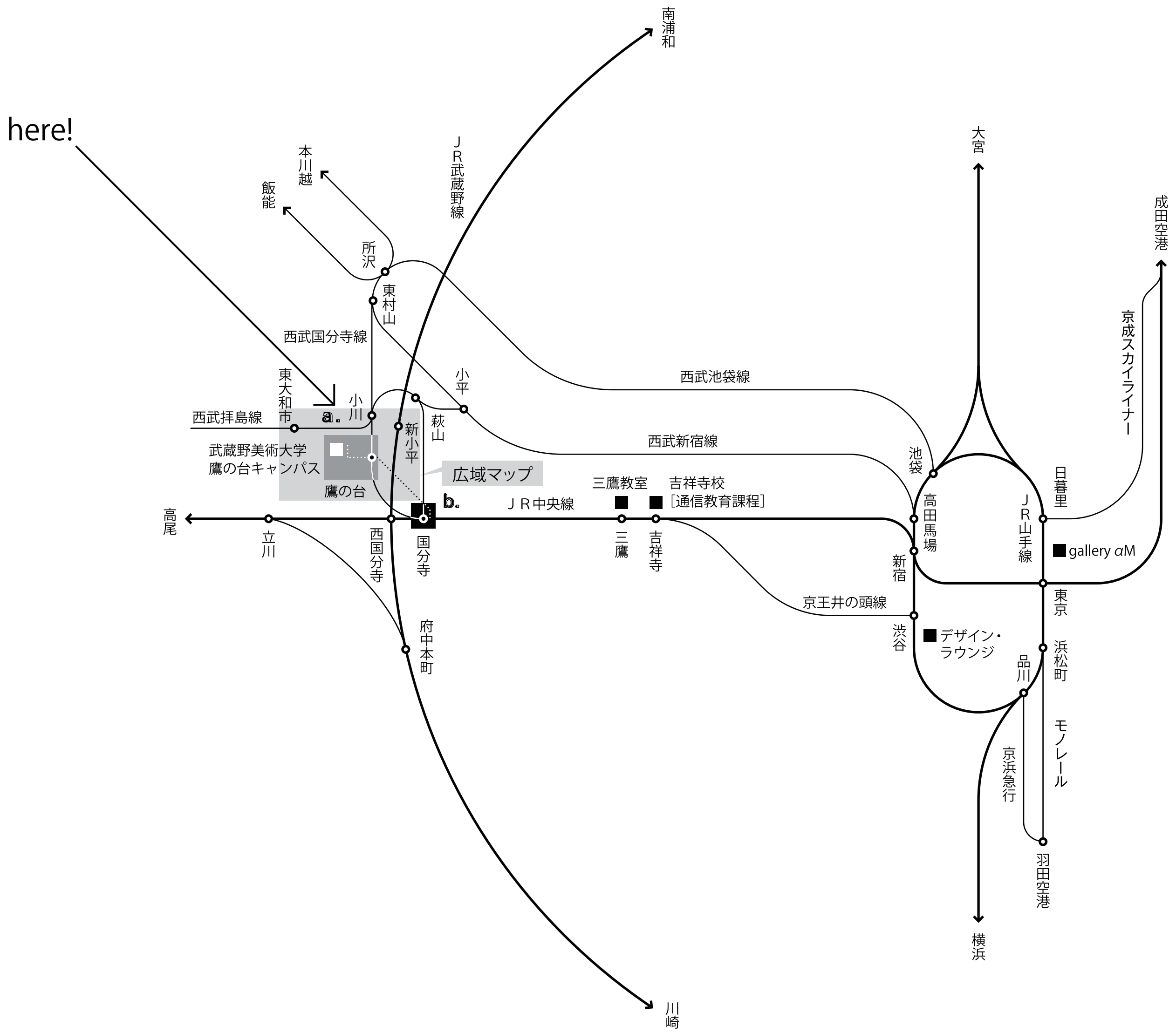
鈴木　泰範　さん（横浜市立飯島中学校　教諭）
【平成29年度　映像表現クラスⅠコース　受講】

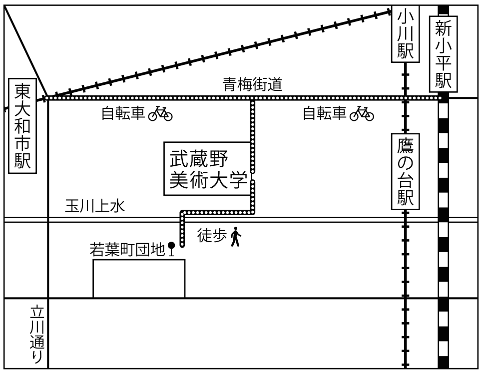
大学を卒業して約10年、忙しい日に追われ、ものをつくることから遠ざかってしまった自分にとって、武蔵野美術大学での免許状更新講習はとても有意義に思い、受講することにした。どの実技講習も魅力的ですごく迷ったが「ミュゼオロジーと鑑賞活動」を選択した。今まで鑑賞についてきちんと学ぶ機会がなく、また小学校での実践ですぐに学んだことを生かせそうだと思ったからだ。
杉浦幸子先生の美術館での授業は、美術館での鑑賞活動の可能性を大いに感じ、自分だったらどうするか、どの学年で、どんな発問をするか・・・と常に実践をイメージし受講することができた。
新見隆先生の授業では、作家、作品を心底想い、考え、感じたモノを扱うこと、空間をつくることを学んだ。
ファシリテーターとして、キュレーターとして、新たな視点で芸術に関わることができた。また、これからの子供達に問われるコミュニケーション能力と鑑賞活動の関連性についても知る機会になった。刺激的で貴重な５日間、免許とともに芸術への想いも更新できた。ありがとうございました。

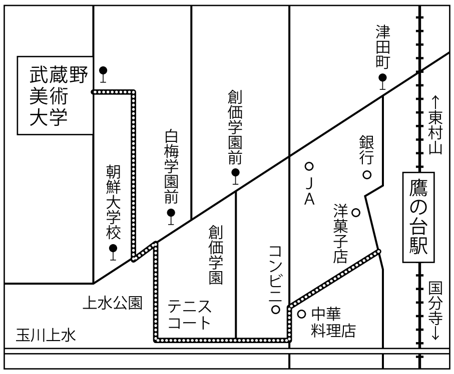
近藤　真琴　さん（東京都八王子市立高倉小学校　教諭）
【平成29年度 ミュゼオロジーと鑑賞活動クラスⅠコース　受講】

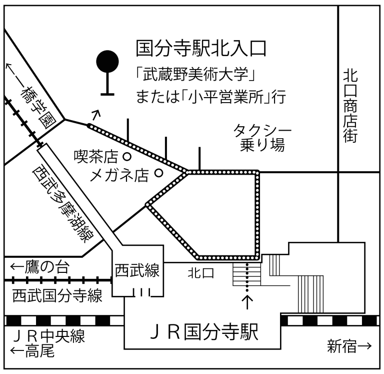
## 鷹の台キャンパスへのアクセス

住所：東京都小平市小川町 1-736




広域マップ
JR中央線「立川」駅北口より、立川バスを利用し「若葉町団地」で下車すれば、徒歩約12分で本学まで来られます。また、JR武蔵野線「新小平」駅や西武拝島線「東大和市」駅から自転車通学する学生も多数います（約13分／約10分）。

a. 西武国分寺線「鷹の台」駅下車 徒歩18分
◎JR中央線から
「国分寺」駅乗換、「東村山」行（2駅目）
◎西武新宿線から
「東村山」駅乗換、「国分寺」行（2駅目）

b. 西武バス「武蔵野美術大学」停留所 下車すぐ
◎JR中央線「国分寺」駅北口徒歩3分
「国分寺駅北入口」停留所より
「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車
（バス所要時間：約20分）

お問合せ先

武蔵野美術大学　更新講習係　0422-22-8562
〒180-8566　東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7
FAX 0422-22-8060　E-mail cc-koshin@musabi.ac.jp